



平成 26 年 10 月 27 日

各 位

会社名 ニチユ三菱フォークリフト株式会社

コード番号 7105 (東証・大証第一部)

(URL <http://www.nmf.co.jp/>)

代 表 者 取締役社長 二ノ宮秀明

問 合 せ 先 取締役上席執行役員財務部長 中村 真明

TEL (075)951-7171

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 26 年 5 月 9 日発表)	135,000	5,500	5,000	2,500	23 円 50 銭
今 回 修 正 予 想(B)	143,600	6,300	6,000	3,400	31 円 96 銭
増 減 額(B-A)	8,600	800	1,000	900	—
増 減 率(%)	6.4	14.5	20.0	36.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	98,506	2,968	2,958	579	5 円 44 銭

(注) 当連結会計年度より、海外連結子会社の事業年度終了日を連結会計年度と同じ 3 月 31 日に変更いたしました。この決算期変更に伴い、当第 2 四半期 (累計) の連結業績予想における当該子会社の業績は、平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日までの 9 ヶ月間となっております。

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間における経営環境は、米国、東南アジア及び日本などで景気が回復傾向となり、生産販売が堅調に推移したこと、また、円安効果も加わったことにより、売上は期初の想定を上回りました。また、営業利益においては、売上増加に加えて利益率の改善効果や経費の削減もあり、期初の想定を上回る状況となりました。さらに、円安に伴う為替の評価益も加わったため、経常利益、当期純利益についても期初予想を上回る見通しとなりました。こうした状況を踏まえ、第 2 四半期 (累計) 連結業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、海外・国内とも不透明な要素が多くあり、現在の予想値より詳細な予想が難しく、前回通りといたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上